

生活支援体制整備事業情報紙



No.28

生活支援体制整備事業情報紙 “てごてご”
では、町内の支え合い活動やサロン等のご紹介、平生で生活する上でのお役立ち情報を届けします。

~私たちのまち“ひらお”を
私たちの手で住みよいまちに~



ご報告

ボランティア講座 開催しました！

この講座は、地域デビューのきっかけや参加者同士の仲間づくり、地域での居場所を見つける一助としていただき、町内のボランティアの輪を広げることを目的として開催しました。町内では様々なボランティア活動団体がありますが、この度、町内で実際に活動されている4名の方から、活動を始めたきっかけや活動を通して感じておられることなどをお話しいただきました。お話しいただいた内容や参加者の皆さんのお感想をご紹介します！

藤本美千代さん 三戸智恵子さん（点訳ボランティア てんとうむし）

点訳教室に申し込んだことがきっかけです。
“てんとうむし”のみなさんがあたたかく迎え入れてくれ、丁寧に教えてくれたので続けることができたと思います。
点字は難しいけれど、活動している時間はとても幸せです。
ボランティア活動に興味のある方、ぜひ今すぐ一步を踏み出してほしいと思います。



新川陽子さん（みんな食堂 赤子山）

子ども食堂がフームになったとき、平生町にもできたら良いなと思ったことがきっかけで、たくさんの方が協力してください、 “みんな食堂 赤子山”を始めるることができました。
子どもたちに寄り添える場所にしていきたいです。
ボランティア活動に壁を感じる人もいるかもしれません、少し乗り越えるといろんな人とつながることができます。



裏面に続きます！

田代信忠さん（箕山地域おたすけ隊）



自分の住む身近な地域で、生活の中のちょっとした困りごとをお手伝いするボランティアをしています。小さな範囲から始めて、少しずつ広げていきたいと考えています。

最初は人が集まりませんでしたが、個別に声をかけて仲間を増やしました。大変な活動もありますが、終わった後はとても気持ちが良いです。

自分にもお手伝いできるかもしれないと思った

～参加者の感想～

ボランティアについてとても勉強になりました

一步踏み出すきっかけや
思いを参考に
仲間を増やしていきたい



平生町でボランティアの方々がこんなに活躍されていることを初めて知りました

皆さんのがいきいきと
話されているのが
印象的でした

技術や努力が必要だと
思いますが、楽しくやって
おられることに感心しました

参加者の皆さまからたくさんの質問があり、活気ある和やかな講座となりました。
今後も一步踏み出すきっかけとなるような講座を開催していくので、ぜひたくさんの方のご参加をお待ちしています。

お知らせ

取材先を募集しています！



生活支援コーディネーターが皆さんの活動の場にお邪魔させていただき、活動の様子を取材、“てごてご”でご紹介いたします。
ボランティア活動やサロン活動など地域の皆さまの「こんなことやってるよ」を教えてください！お仲間募集の記事も掲載可能です。
お問い合わせは、あいあむ（平生町社協）TEL:0820-56-8000まで



生活支援
コーディネーター

生活支援体制整備事業情報紙



発行日：令和7年12月5日（金）

発行：社会福祉法人 平生町社会福祉協議会

あいあむ

山口県熊毛郡平生町大字平生村 618-2

TEL: 0820-56-8000

FAX: 0820-56-8020

E-mail: fukushi@hirao-shakyo.or.jp



～私たちのまち“ひらお”を私たちの手で住みよいまちに～

HP

@AIAMHIRAO